

証券コード4526



理研ビタミン株式会社

2010年3月期 第2四半期決算説明会



2009年11月12日

www.rikenvitamin.jp

本日の内容



1. 開会

2. 2010/3月期 第2四半期連結決算 及び 通期連結事業計画の概要

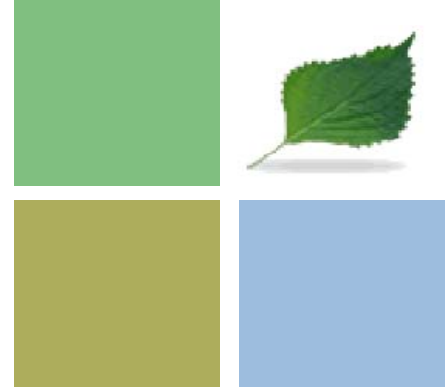
取締役 経営企画部長 堀井 滋

3. 第5次中期経営計画達成に向けて

代表取締役社長 堺 美保

4. 質疑応答

5. 閉会



2010年3月期 第2四半期連結決算 及び 通期連結事業計画の概要

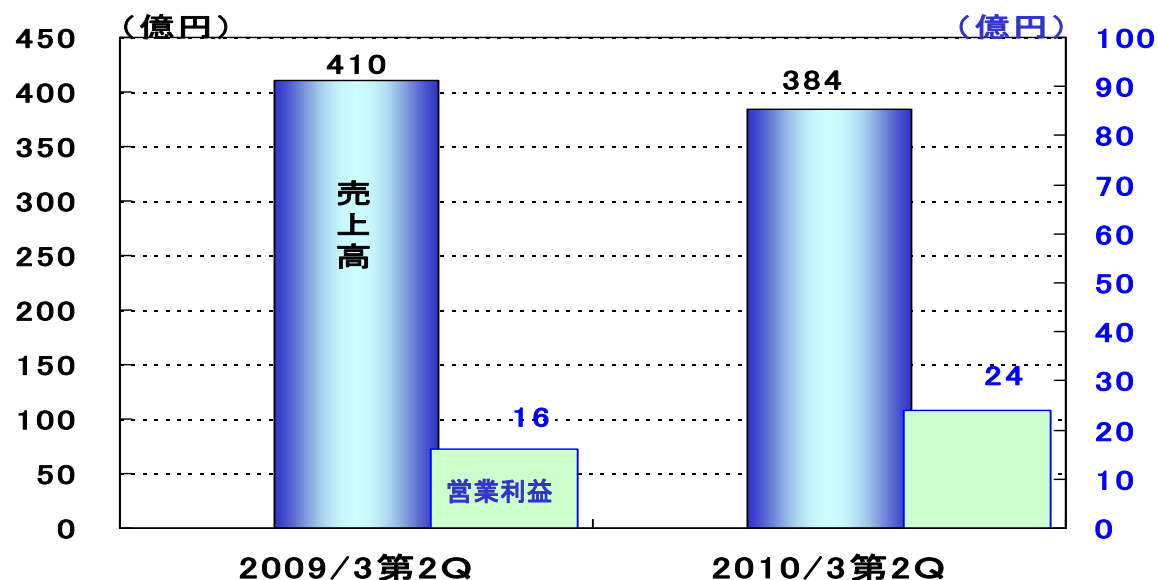
取締役 経営企画部長

堀井 滋

2010/3期 第2Q決算ハイライト（連結）



	2009/3期第2Q		2010/3期第2Q		前年増減(億円)	前年比(%)
	(億円)	対売上比(%)	(億円)	対売上比(%)		
売上高	410	—	384	—	△26	93.5
粗利益	115	28.2	118	30.9	3	102.6
販管費	99	24.3	93	24.4	△6	94.2
営業利益	16	3.9	24	6.5	8	154.4
経常利益	17	4.1	25	6.6	8	149.4
純利益	9	2.3	13	3.4	4	139.4



セグメント、部門別売上高(連結)



売上高		2009/3期第2Q	構成比	2010/3期第2Q	構成比	前年比
セグメント	部 門	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(%)
食品事業		341	83.0	325	84.7	95.4
	家庭用食品	92	22.6	90	23.6	97.8
	業務用食品	55	13.6	56	14.6	100.1
	加工食品用原料	82	20.1	78	20.4	94.9
	食品用改良剤	109	26.7	100	26.1	91.3
化成品事業		36	8.9	29	7.7	81.2
ビタミン・その他事業		33	8.1	28	7.6	87.4
合 計		410	100.0	384	100.0	93.5

セグメント別増減 「食品事業」



家庭用食品

前年同期比 Δ 2.0億円

- わかめ類 …… Δ 1.5 億円 (ふえるわかめ $+1.7$ 億円 生わかめ他 $\Delta 2.5$ 億円 生めかぶ $\Delta 0.8$ 億円)

業務用食品

前年同期比 0 億円

- わかめ類 …… Δ 1.1 億円 (「生わかめ」の売上減少)
- ドレッシング …… $+ 1.5$ 億円 (夏場を通しての売上確保)

加工食品用原料

前年同期比 Δ 4.2 億円

- 青島福生食品(水産加工品) …… Δ 3.9 億円 (欧米向けの販売不振)

食品用改良剤

前年同期比 Δ 9.5 億円

- 国内 …… $+ 2.2$ 億円
- 海外 …… Δ 11.8 億円 (市況低迷による海外販社の落ち込み)

セグメント別増減 「化成品事業」、「ビタミン・その他事業」



化成品事業

前年同期比 Δ 6.8 億円

- 国内 Δ 3.5 億円 (デジタル家電・自動車部品業界からの受注減)
- 海外 Δ 3.3 億円 (欧州・台湾・韓国での落ち込み)

ビタミン・その他事業

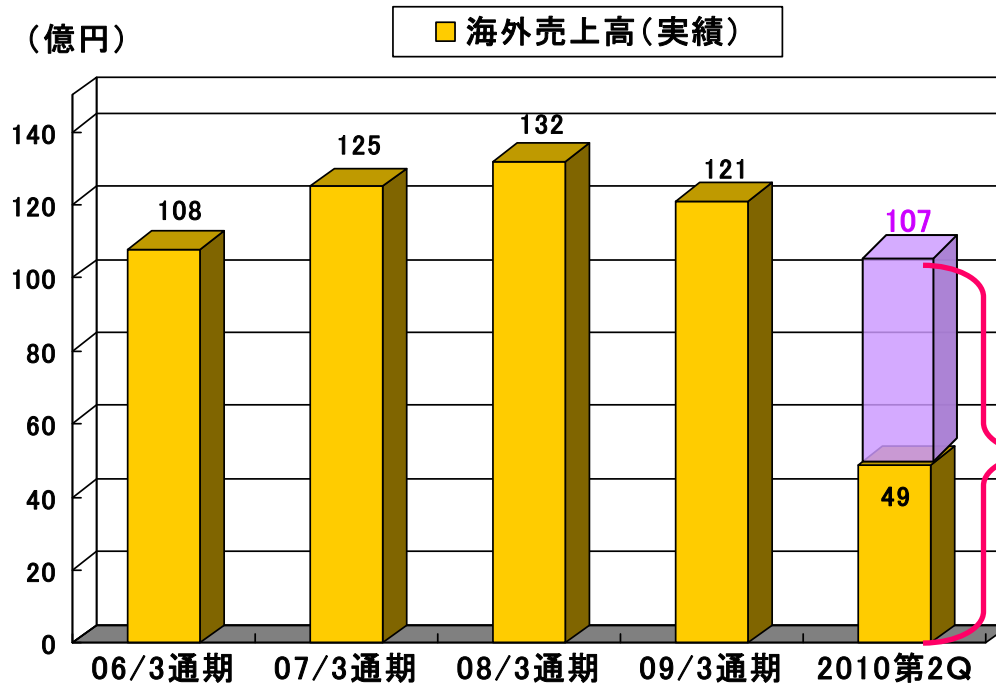
前年同期比 Δ 4.1 億円

- ビタミンE
 - ☆ 健康食品用のビタミンEの減少による落ち込み
- 電子精密部品関連(国内子会社・健正堂)
 - ☆ 取引先からの受注が減少、売上は半減に

海外売上高



	2009/3期第2Q			2009/3期			2010/3期第2Q		
	欧米	アジア他	計	欧米	アジア他	計	欧米	アジア他	計
売上高(億円)	37	33	71	66	54	121	26	22	49
連結売上高に占める割合(%)	9.0	8.3	17.3	8.5	7.0	15.4	6.9	5.9	12.8



2010/3期 海外売上高目標
107億円(構成比13.9%)

貸借対照表の主な増減科目(連結)



〔資産の部〕

(億円)

科 目	2009/3月期 期末	2010/3月期 第2Q期末	前期末 増減
流動資産	449	470	20
受取手形及び売掛金	176	184	8
たな卸資産	130	145	14
固定資産	352	345	△6
有形固定資産	240	234	△5
無形固定資産	8	8	0
投資その他の資産	102	102	0
■合 計	801	815	14

受取手形及び
売掛金、たな卸
資産の増加

貸借対照表の主な増減科目(連結)



〔負債・純資産の部〕

(億円)

科 目	2009/3月期 期末	2010/3月期 第2Q期末	前期末 増減
流動負債	201	221	19
支払手形及び買掛金	79	82	2
短期借入金	64	76	12
固定負債	41	45	3
長期借入金	11	8	△2
負債合計	243	266	23
純資産合計	557	548	△8
合計	801	815	14

短期借入金の
増加

自己株式取得
△25

キャッシュフローの状況(連結)



(億円)

	2009/3月期 第2Q	2010/3月期 第2Q	前年 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	16	13	△3
投資活動による キャッシュ・フロー	△10	5	15
財務活動による キャッシュ・フロー	△2	△21	△18
現金及び現金同等 物の四半期期末残 高	104	112	8

投資有価証券
の売却
+10

自己株式取得
△25

2010年3月期 連結通期事業計画



(単位:億円)

	09/3月期 実 績	10/3月期 予 想	前期差 前期比
売 上 高	789	775	△ 14 98.2%
粗 利 益	219	229	10 104.5%
(対売上比)	(27.8%)	(29.6%)	
販 売 管 理 費	190	191	1 100.5%
(対売上比)	(24.2%)	(24.7%)	
営 業 利 益	28	38	9 133.0%
(対売上比)	(3.6%)	(4.9%)	
経 常 利 益	26	37	10 138.9%
(対売上比)	(3.4%)	(4.8%)	
純 利 益	15	22	6 145.8%
(対売上比)	(1.9%)	(2.8%)	

※当初計画
売上高 805
粗利益 232
販管費 194

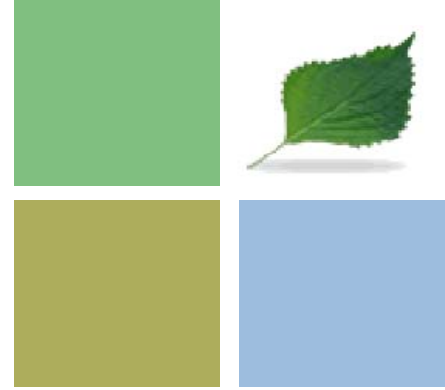
当初計画から
の
変更なし

2010年3月期 連結通期セグメント別売上計画



(単位:億)

セグメント	部門	09/3月期 実績		10/3月期 通期予想			前期比
		売上高	構成比	当初計画	売上高	構成比	
食品事業		662	84.0%	677	657	84.8%	99.2%
	家庭用食品	172	21.9%	175	171	22.1%	99.4%
	業務用食品	113	14.3%	115	114	14.8%	100.9%
	加工食品用原料	168	21.4%	184	169	21.9%	100.6%
	食品用改良剤	207	26.4%	202	201	26.0%	97.1%
化成品事業		64	8.2%	66	61	8.0%	95.3%
ビタミン・その他事業		61	7.8%	61	55	7.2%	90.2%
合 計		789	100.0%	805	775	100.0%	98.2%



第5次中期経営計画達成に向けて

代表取締役社長

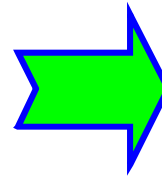
堺 美保

第5次中期経営計画



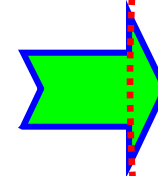
(単位: 億円)

	第72期 08/3期 実績	第73期 09/3期 実績
売上高	808	789
売上総利益 (利益率)	234 29.0%	219 27.8%
販売管理費	198	190
営業利益 (利益率)	36 4.5%	28 3.6%
経常利益 (利益率)	38 4.7%	26 3.4%
当期純利益 (利益率)	22 2.8%	15 1.9%



第5次中期経営計画

第74期 10/3期 予想
775
229 29.6%
191
38 4.9%
37 4.8%
22 2.8%



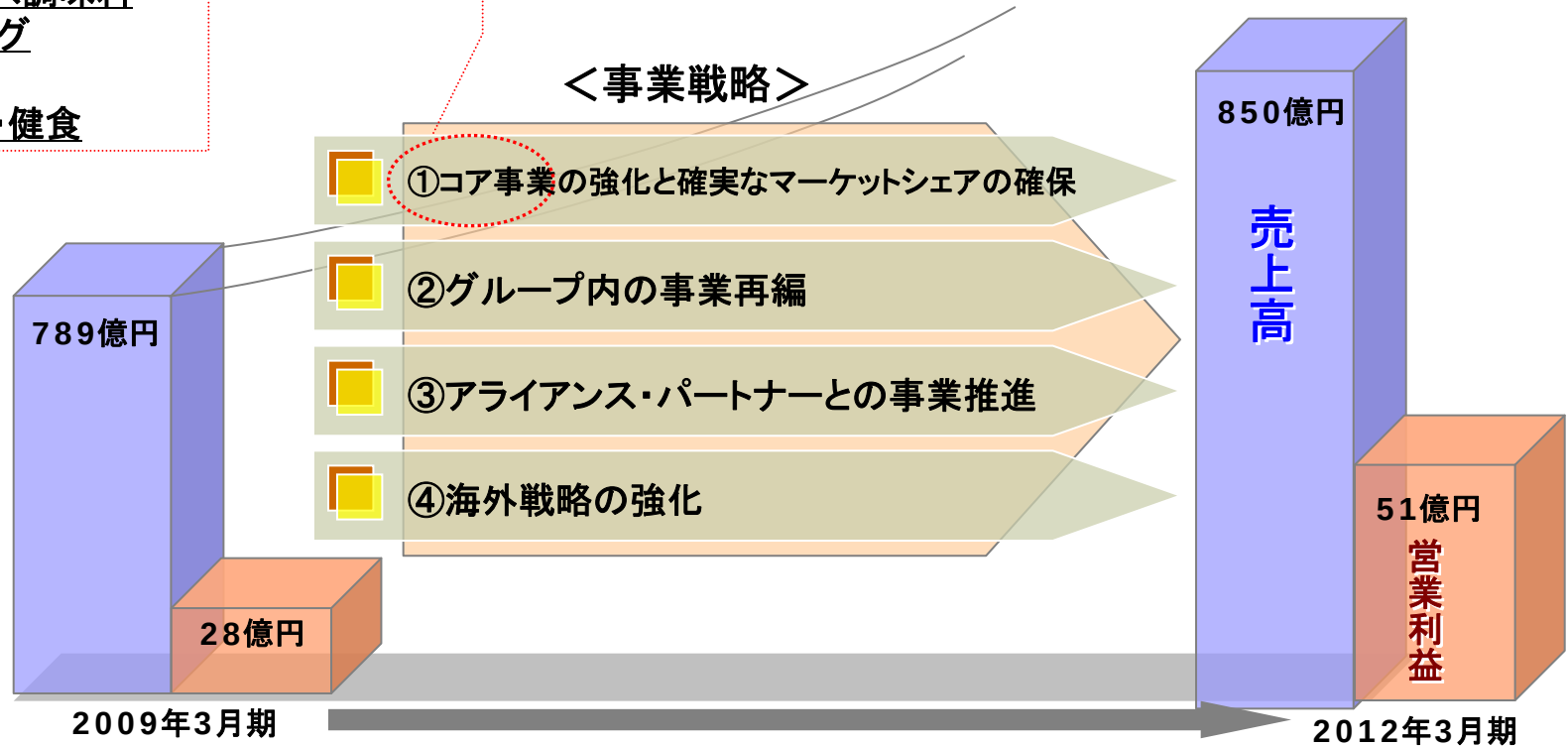
第76期 12/3期 計画
850
255 30.0%
204
51 6.0%
51 6.0%
34 4.0%

第5次中期(3カ年)経営計画の事業戦略



4つの事業戦略を実行することにより、売上高850億円、営業利益51億円を達成する

- ◇改良剤
- ◇天然エキス調味料
- ◇ドレッシング
- ◇海藻
- ◇ビタミンE・健食



① コア事業の強化と確実なマーケットシェアの確保



改良剤事業の
グローバル化と
成長の加速化

- [国内] 顧客ニーズにマッチした新商品開発 ⇒ シェアの維持・拡大
- [海外] 新規市場開拓 ⇒ アジア地域を重点にシェア拡大

天然エキス調味料事業の
強化・推進

- [ポークエキス事業] 顧客ニーズに対応した製品ラインアップ
 - [素材力だし] 品揃えと販売促進策の強化
- 売上拡大

ドレッシング事業の
一層の基盤強化
・推進

- 周辺商品の開発・上市 / ラインアップ強化 ⇒ シェア拡大
- ノンオイルスーパードレッシングの販売促進策を集中展開
⇒ ブランド強化・維持
- 用途開発・メニュー提案の強化 ⇒ 新規需要の拡大

海藻事業の
ブランド強化と
再成長

- 差別化された新商品開発 ⇒ 新市場創出 と シェアアップ
- わかめNO. 1企業として、海藻関連商品の開発

ビタミンEおよび
健康食品事業の
推進

- [ビタミンE事業] 医薬・食品向けに積極販売活動 → 売上・収益拡大
- 健康食品・機能性食品事業の拡大

② グループ内の事業再編



◇ 生わかめ事業の整理

⇒ 家庭用・生わかめ ⇒ 今春、終売済み
その生産拠点はスープ・調味料類製品の工場へ

◇ 餡事業の収斂

⇒ 天津工場／改良剤設備・拡充へ

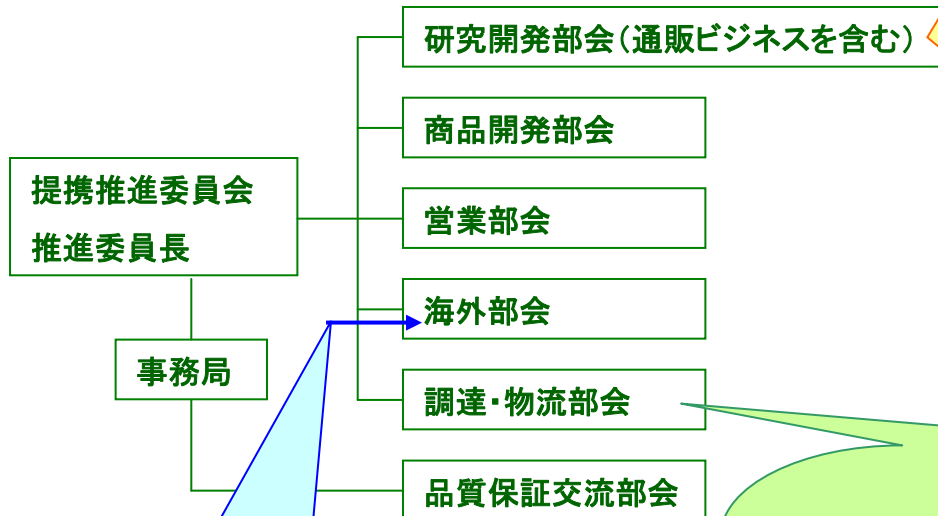
◇ 電子精密部品事業からの撤退

⇒ グループ会社の(株)健正堂は、化成品製品の
生産工場として、来春より稼動開始の計画

成長カテゴリーを見極めたパワーの投入

③ アライアンス・パートナーとの事業推進

キッコーマン社との 提携推進委員会の組織図



キッコーマン販売ルートを活用した
家庭用・業務用商材の海外展開

キッコーマンとの共同開発商品
「からだのチカラ」
7月1日より新発売

メカブのフコイダンと
植物性乳酸菌を含有した
健康補助食品



キッコーマンとの
物流共同化

8月下旬より
物流拠点運営を
キッコーマン子会社の
「総武物流」に切替え



④海外戦略の強化1

(単位:億円)

地域別	2008/3 実績		2009/3 実績	
	売上高	構成比	売上高	構成比
欧米	77	9.6%	66	8.4%
アジア・その他	55	6.8%	54	7.0%
海外・計	132	16.4%	121	15.4%
国内	675	83.6%	667	84.6%
連結・合計	808	100.0%	789	100.0%

2010/3 目標	
売上高	構成比
72	9.0%
52	6.5%
125	15.5%
680	84.5%
805	100.0%

2012/3 目標	
売上高	構成比
77	9.2%
67	7.9%
145	17.1%
705	82.9%
850	100.0%

※為替影響額
対前年 ▲9.2億円
対計画 ▲3.6億円

修正

2010/3 修正	
売上高	構成比
60	7.8%
46	6.1%
107	13.9%
667	86.1%
775	100.0%

④海外戦略の強化2

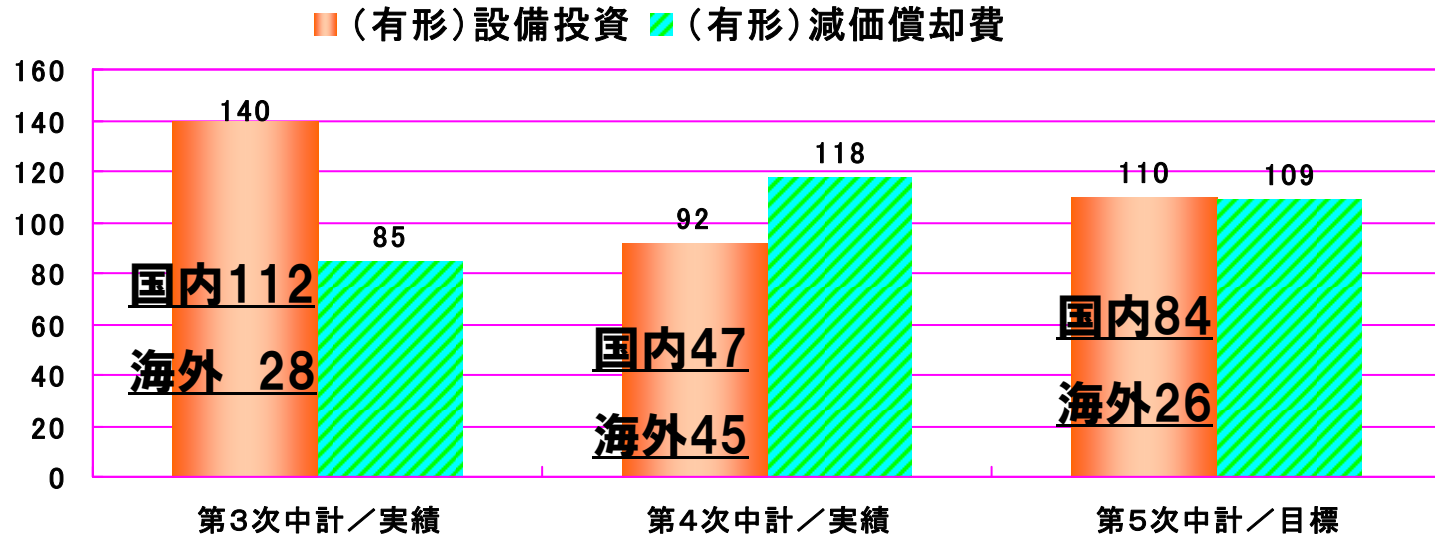
改良剤分野での更なる強化 (食品／化成品)



設備投資計画及び減価償却



(単位:億円)



◇3ヵ年で合計110億円の設備投資計画◇

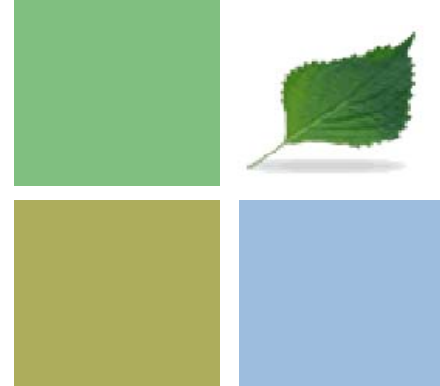
事業の成長戦略
に対応した
生産体制

構築

安全で適正コストの
製品を安定して供給する
生産体制

社会の一員としての〔使命〕

- 1) **食の安全**（品質マネジメントの徹底）
- 2) **環境問題**（地球温暖化 ⇒ CO2削減）
- 3) **CSR経営の推進**（良き企業市民として）



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、
この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部

毛塚、相原まで

TEL 03-5275-5835